



2026 年 8 月 7 日

各 位

会社名 神戸天然物化学株式会社
代表者名 代表取締役社長 真岡宅哉
(コード番号 6568 東証グロース)
問合せ先 専務取締役 管理本部長 関正博
(TEL. 078-955-9900)

2027 年 3 月期 通期業績予想の公表及び期末配当予想の公表に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2026 年 5 月 14 日に公表いたしました「2026 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」において「未定」としておりました 2027 年 3 月期（2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）の通期業績予想、ならびに期末配当予想を策定し、これを公表することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の公表

(1) 2027 年 3 月期の業績予想（2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	未定	未定	未定	未定	未定
今回修正予想 (B)	10,000	910	890	640	82.67
増減額 (B - A)	—	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2026 年 3 月期)	9,093	1,024	1,028	766	99.02

(2) 通期業績予想公表の理由

2026 年 5 月 14 日に公表いたしました前回発表時においては、中東情勢の悪化に伴うホルムズ海峡の閉鎖懸念や物流の停滞により、中東地域への依存度が高い原油やナフサ等のサプライチェーンにおいて深刻な混乱が生じておりました。このため、原材料の購入自体が危ぶまれる極めて不透明な調達環境下であったほか、溶剤関連を中心

に原材料価格が連日急騰し業績への影響額を合理的に算出することが困難であったため通期業績予想を「未定」としておりました。

しかしながら、現時点においては中東以外の代替地域からの輸入増加や流通上の目詰まり改善によりサプライチェーンの混乱が沈静化へと向かっていると認識しております。引き続き、中東情勢に起因する不確実性や原材料・資材価格の高止まりなどの影響は残るものの、2027年3月期の通期業績見通しを合理的に算定することが可能となったため、通期業績予想を公表することといたしました。

2. 期末配当予想の公表について

(1) 配当予想

	1株当たり配当金		
	第2四半期	期末	年間合計
前回予想 (2026年5月14日)	16円00銭	未定	未定
今回修正予想	16円00銭	17円00銭	33円00銭
当期実績			
前期実績 (2026年3月期)	16円00銭	17円00銭	33円00銭

(2) 期末配当予想公表の理由

当社は株主に対する利益還元を経営の重要課題の一つと認識しており、その利益配分は、将来の事業展開及び経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

2026年5月14日の前回発表時におきましては、前述の通り原材料の調達環境や価格動向における極めて高い不確実性を背景に、通期業績予想の合理的な算定が困難であったことから、期末配当予想につきましても不本意ながら「未定」とさせていただいておりました。しかしながら、今般、サプライチェーンの混乱沈静化に伴い事業環境の不透明感が和らぎ、当期の通期業績見通しを策定することが可能となったことから、上記基本方針に基づき、当期の期末配当予想につきましてもあわせて算定のうえ、公表することといたしました。

※本資料に記載されている業績予想に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により異なる場合があります。

以 上